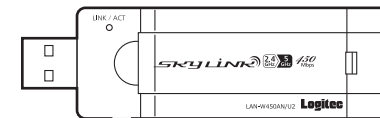
Wireless LAN Adapter

IEEE802.11n/a・11n/g/b準拠　無線LANアダプタ

LAN-W450AN/U2

User's Manual

このマニュアルは、別冊の「かんたんセットアップガイド」とあわせてお読みください。

●このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用　語	意　味
本製品	無線LANアダプタ「LAN-W450AN/U2」を称して「本製品」と表記しています。
11n/11a/11g/11b	IEEE802.11n規格を「11n」、IEEE802.11a規格を「11a」、IEEE802.11g規格を「11g」、IEEE802.11b規格を「11b」と省略して表記している場合があります。
11bgn	11n/11g/11bの略です。
11an	11n/11aの略です。
無線ルータ	「無線LANブロードバンドルータ」を略して「無線ルータ」と表記しています。
無線AP	「無線LANアクセスポイント」のことを略して「無線AP」と表記しています。
無線親機	無線ルータ、無線APを総称して「無線親機」と表記しています。
無線子機	無線LAN機能を内蔵したパソコン、無線アダプタを取り付けたパソコン、無線コンバータを接続した機器などを総称して「無線子機」と表記しています。また、無線アダプタ、無線コンバータそのものを「無線子機」として表記している場合があります。
有線クライアント	有線LAN機能または有線LANアダプタを搭載したパソコンなどを「有線クライアント」と表記しています。

●このマニュアルで使われている記号

記　号	意　味
注 意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

ご注意

●本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
●本製品に付随するドライバ、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTPサイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。

●このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
●このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
●本製品の日本国外での使用は禁じられています。ご利用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での（海外からの）保守、サポートは行っておりません。
●本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
●Microsoft、Windows Vista、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®およびTMは省略させていただきました。

IEEE802.11n/a・11n/g/b準拠　無線LANアダプタ

LAN-W450AN/U2

User's Manual
ユーザーズマニュアル

はじめに

この度は、ロジテックのIEEE802.11n/a・11n/g/b準拠 無線LANアダプタをお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには、無線LANアダプタを使用するにあたっての手順や設定方法が説明されています。また、お客様が無線LANアダプタを安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。導入作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業をおこなって製品を使用するようにしてください。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

警　告	**この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。**
注　意	**この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。**

警　告

本製品の分解、改造、修理をご自分でおこなわないでください。
火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。

本製品を取り付けたパソコン本体から発煙や異臭がしたときは、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

本製品を取り付けたパソコン本体に、水などの液体や異物が入った場合は、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

本製品を、水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

注　意

本製品の取り付け、取り外しのときは、必ずパソコン本体および周辺機器メーカーの注意事項に従ってください。

本製品の取り付け、取り外しのときは、本製品に触れる前に金属性のもの（スチールデスク、ドアのノブなど）に手を触れて、静電気を除去してから作業をおこなってください。
静電気は本製品の破損の原因になります。

本製品および本製品を取り付けたパソコン本体を次のようなところで使用しないでください。
・高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
・直射日光のあたるところ
・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
・静電気の発生するところ、火気の周辺

長期間、本製品を取り付けたパソコン本体を使用しないときは、電源プラグを抜いておいてください。
そのまま使用すると、故障の原因になります。

重要なご注意

本製品を長時間利用すると高温になることがあります。長時間からだに触れていると低温やけどの恐れがあります。
また、取り外しの際は無理をせず、パソコンを終了し、しばらく経ってから取り外してください。

無線LANをご使用になるにあたってのご注意

●無線LANは無線によりデータを送受信するため盗聴や不正なアクセスを受ける恐れがあります。無線LANをご使用になるにあたってはその危険性を十分に理解したうえ、データの安全を確保するためセキュリティ設定をおこなってください。また、個人データなどの重要な情報は有線LANを使うこともセキュリティ対策として重要な手段です。

●本製品は電波法に基づき、特定無線設備の認証を受けておりますので免許を申請する必要はありません。ただし、以下のことは絶対におこなわないようにお願いします。

・本製品を分解したり、改造すること
・本製品の背面に貼り付けてある認証ラベルをはがしたり、改ざん等の行為をすること
・本製品を日本国外で使用すること

これらのことに違反しますと法律により罰せられることがあります。

●心臓ペースメーカーを使用している人の近く、医療機器の近くなどで本製品を含む無線LANシステムをご使用にならないでください。心臓ペースメーカーや医療機器に影響を与え、最悪の場合、生命に危険を及ぼす恐れがあります。

●電子レンジの近くで本製品を使用すると無線LANの通信に影響を及ぼすことがあります。

もくじ

Chapter 1

概要編

1 製品の保証について

製品の保証とサービス

本製品には保証書が付いています。内容をお確かめの上、大切に保管してください。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

- 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- 本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、保証書に記載された保証規定をお確かめください。

●その他のご質問などに関して

P11「2. サポートサービスについて」をお読みください。

2 サポートサービスについて

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアル、修理依頼書、付属品購入窓口などをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

サポートページ　6409.jp　（http://は必要ありません）

ロジテック・テクニカルサポート（ナビダイヤル）
TEL：0570-050-060
受付時間：月曜日～土曜日 10:00～19:00
（祝日営業）※ただし、夏期、年末年始の特定休業日は除きます。

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。
また国外での使用、国外からの問合せにはサポートを行なっておりません。
This product is for domestic use only. No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

テクニカルサポートにお電話される前に

お問合せの前に以下の内容をご用意ください。

・弊社製品の型番
・インターネットに関するプロバイダ契約の書類
・ご質問内容（症状、やりたいこと、お困りのこと）

※可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

3 本製品の概要について

本製品の特長

●11n/a、11n/g/b規格に準拠、最大450Mbpsの高速無線アダプタ
2.4GHz帯に加え、5GHz帯も使用するIEEE802.11n/a規格に準拠します。送信・受信各3本のアンテナを装備し、5GHz帯も使用する「11n/a」、2.4GHz帯を使用する「11n/g/b」のいずれでも最大450Mbps（理論値）という高速な無線LAN通信が可能な無線アダプタです。障害物に強く、広範囲での通信が可能という「11n」のメリットと、混信が少なく、使用環境を選ばない「11a」のメリットを複合させた高性能な無線アダプタです。

●シンプルで使いやすくなった新ユーティリティを採用
Logitecクライアントユーティリティがリニューアルしました。従来よりもコンパクトな画面になったうえ、必要な情報を、必要なときに表示できるようになりました。

●折りたたみアンテナを搭載し、安定感のあるデータ転送が可能
未使用時はコンパクトに収納することができる、折りたたみ式の外部アンテナを装備しています。より広範囲で最大450Mbpsという高速データ通信を可能にします。

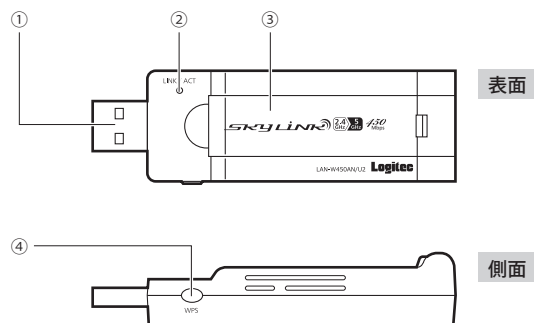
●ボタンひとつで無線LAN設定が完了する「WPS」に対応
セキュリティを含めたわずらわしい無線LAN設定をボタンひとつで済ませることができる「WPS」機能に対応しています。無線親機と本製品のWPSボタンを押すだけで設定が完了し、すぐに無線LANで接続できるようになります。
WPSは、Wi-Fiアライアンスが制定した世界標準の機能ですので、メーカーに依存することなく、安心してご使用いただけます

●セットアップが簡単で、すぐに無線LANが使える
付属のCD-ROMに添付されたプログラム「かんたんセットアップツール」と、「かんたんセットアップガイド」により、説明に従って作業を進めるだけで、簡単にセットアップが完了します。

●伝送方式にOFDM方式を採用
IEEE802.11n/a、11n/gは、伝送方式にOFDM（Orthogonal Frequency Division Multiplexing = 直交周波数分割多重）方式を採用しています。この方式はデータを多重化して送信するマルチキャリア伝送方式で伝送特性の劣化を軽減することができ、安定したデータ伝送を可能にする伝送方式です。
※IEEE802.11b（11Mbps）はDS-SS方式（直接拡散スペクトラム方式）を採用しています。

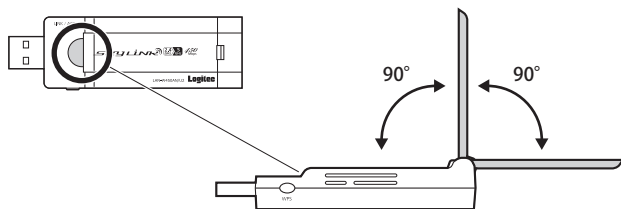
●各種無線セキュリティ機能に対応
より高度なセキュリティ方式であるWPA-PSK（TKIP）/WPA2-PSK（AES）に対応しています。WPAでは、暗号キーを一定時間ごとに自動的に変更しますので、外部からの不正解読が困難になっています。また、従来からあるWEP（128/64bit）にも対応しています。

●プロファイル機能を搭載
接続先ごとに無線LAN設定を変更しないで済むように、設定を保存できるプロファイル機能を搭載しています。会社や自宅と外出先での設定の切り替えはもちろん、認証方式の保存にも役立ちます。

4 各部の名称とはたらき

番号	名称	はたらき
①	USBコネクタ	パソコンのUSBポートに接続します。
②	LINK/ACTランプ（黄色）	消灯：本製品の電波出力がオフの状態です。 点滅：無線親機とリンクしています。
③	外部アンテナ	電波をより強く、安定して送受信するためのアンテナです。 電波の感度を上げるために角度を変えて調整できます。 可動範囲については、「■外部アンテナの可動範囲」をご参照ください。
④	WPS設定ボタン	無線親機と自動接続するためのWPS機能を実行するときに押します。

■外部アンテナの可動範囲

ご注意：可動範囲を超えてアンテナを動かすとアンテナが破損する恐れがあります。

指先を○部分の溝に入れて、アンテナを引き上げます。可動範囲は180°です。

Chapter 2

導 入 編

まずはここをお読みください

ここでは、本製品を無線子機として使用するためにパソコンのUSBポートに取り付け、無線親機と接続するための導入手順を説明しています。

1　ソフトウェアのインストール

本製品をパソコンに接続し、無線子機として使用する場合のソフトウェアとドライバのインストール方法を説明します。付属のCD-ROMから必要なソフトウェアとドライバをインストールしてください。

注 意

●本製品（無線アダプタ）をパソコンに接続しないでください
ソフトウェアのインストールが完了するまで、本製品をパソコンに接続しないでください。ソフトウェアをインストールする前に本製品を接続すると正常に動作しません。

●無線機能内蔵のパソコンをご使用の場合
内蔵の無線機能をオフにしてから作業を始めてください。

1　本製品を接続するパソコンを起動します。起動時は、ご使用のOSにあわせて、以下の権限を持つユーザーでログオンしてください。

●Windows 7/Vistaの場合
→「管理者（Administrator）」権限を持つユーザーアカウントでログオン

●Windows XPの場合
→「コンピュータの管理者」権限を持つユーザーでログオン

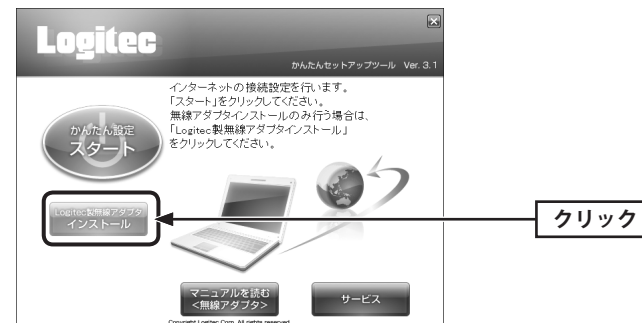
ユーザー権限は、「コントロールパネル」のユーザーアカウントで調べることができます。もし、ログオン中のアカウントに管理者権限がない場合は、管理者権限のあるアカウントで再ログオンしてください。現在のユーザーの権限の確認方法は、P65「補足1：Windowsのユーザー権限の確認方法」をお読みください。

2　付属のCD-ROMをドライブにセットします。

- 自動的に「セットアップメニュー」が表示されます。

「セットアップメニュー」が表示されない場合
マイコンピュータなどでCD-ROMの内容を表示し、「menu（.exe）」アイコンをダブルクリックします。

- Windows Vistaで自動再生画面が表示された場合は、「menu.exeの実行」をクリックします。
- Windows 7またはWindows Vistaで〈ユーザーアカウント制御〉画面が表示された場合は、Windows 7なら［はい］を、Windows Vistaなら［許可］をクリックします。

3　［Logitec製無線アダプタ インストール］をクリックします。

4　［LAN-W450AN/U2］を選択し、［次へ進む］をクリックします。

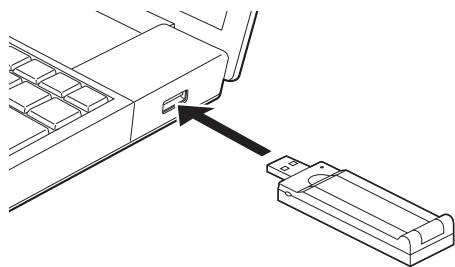
5　［インストールする］をクリックします。

6 **ご使用の環境によって、確認画面が表示されることがあります。表示された画面にあわせて処理を実行します。**

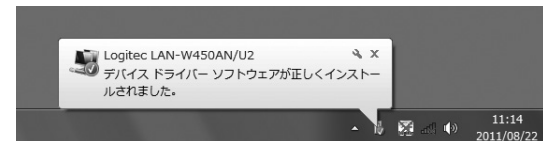
●〈ユーザーアカウント制御〉画面が表示されたとき（Windows 7/Vista）
Windows 7 の場合は［はい］を、Windows Vista の場合は［許可］をクリックします。

●〈Windows セキュリティ〉画面が表示されたとき（Windows 7/Vista）
［このドライバソフトウェアをインストールします］をクリックします。

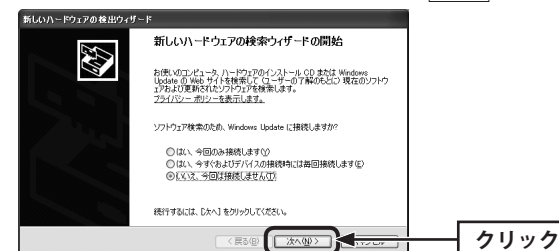
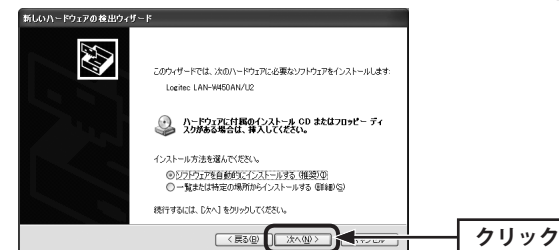
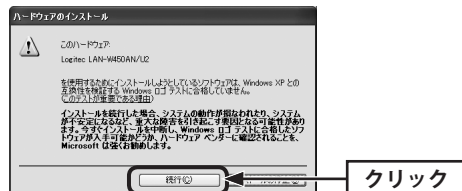
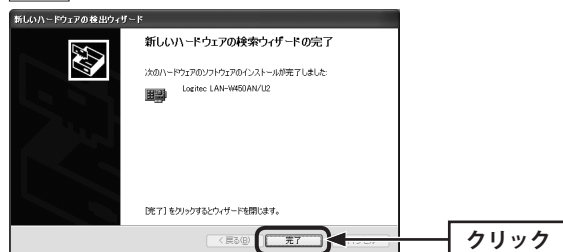
●〈ソフトウェアのインストール〉画面が表示されたとき（Windows XP）
［続行］をクリックします。

7 **「無線アダプタを接続してください。」と表示されますので、パソコンに無線アダプタを取り付けます。**

• 無線アダプタを差し込むと、自動的にセットアップが始まります。

8 **ご使用のOSによって、このあとの手順が異なります。**

■ Windows 7/Vistaの場合
しばらくすると、自動的にドライバのインストールが完了します。手順 **9** へ進みます。

■ Windows XPの場合
ウィザードによるインストール画面が表示された場合は、手順❶～❻を実行します。
表示されなかった場合は、手順 **9** へ進みます。

❶ ❷の画面が表示される前に、「Windowsロゴテスト」に関する画面（❹と同じ）が表示された場合は、手順❺の操作が終わるまで、そのままにしておきます。

❷「いいえ、今回は接続しません」を選択し、［次へ］をクリックします。

❸「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選択し、［次へ］をクリックします。

❹ 以下の画面が表示された場合は、［続行］をクリックします。

クリック

❺ ［完了］をクリックします。

クリック

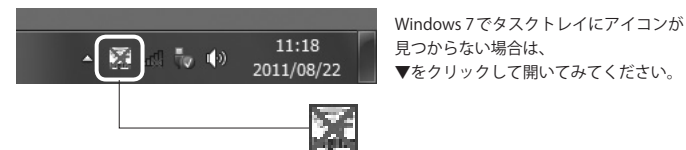
❻ ❶の「Windowsロゴテスト」に関する画面が表示されたままの場合は、［続行］をクリックします。ウィザードが終了しますので、手順 **9** へ進みます。

9 インストールが完了します。［終了する］をクリックします。

クリック

- デスクトップ画面右下にインストール状態を示すメッセージが表示されます。

10 正しくインストールされたことを確認します。

Windows 7でタスクトレイにアイコンが見つからない場合は、▼をクリックして開いてみてください。

- デスクトップ画面右下のタスクトレイに「クライアントユーティリティ」のアイコンが表示されます。

パソコンによっては再起動を促されますが、アイコンが表示されることを確認するまでは再起動しないでください。

2 無線LANで接続する

用意した無線親機を経由して、本製品からインターネットに接続できるようにします。これらの機器に「WPS」機能が搭載されているか、いないかで接続方法が異なります。

無線LANへの接続方法を決める

用意した無線親機に「WPS」機能が搭載されていますか？

はい、搭載しています。

いいえ、搭載していません。

P31「手動設定で接続する」へ進みます。

WPSは設定ボタンを使用するタイプですか、PINコードを入力するタイプですか？

設定ボタンを使用するタイプです。

次ページ「WPSの設定ボタンを使って接続する」へ進みます。

PINコードを入力するタイプです。

P27「WPSのPINコードを使って接続する」へ進みます。

WPS機能について

Wi-Fiアライアンスの新しい規格です。WPS機能を搭載する無線LAN製品同士を接続する場合に、WPS機能を使ってセキュリティを含む無線LAN設定を自動的におこなって、すぐに使えるようにする機能です。WPS機能には、無線親機と無線子機のそれぞれに装備されたWPS用の「設定ボタン」を押すタイプと、「PINコード」と呼ばれる8桁の数字を入力するタイプの2種類があります。面倒なセキュリティ機能も含めて自動的に設定できますので、わずらわしかった無線LAN設定から一気に解放されます。

WPSの設定ボタンを使って接続する

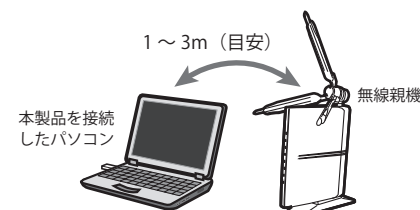
WPS機能のうち、本製品と無線親機に搭載されたWPS用の「設定ボタン」を使って、無線親機に接続します。

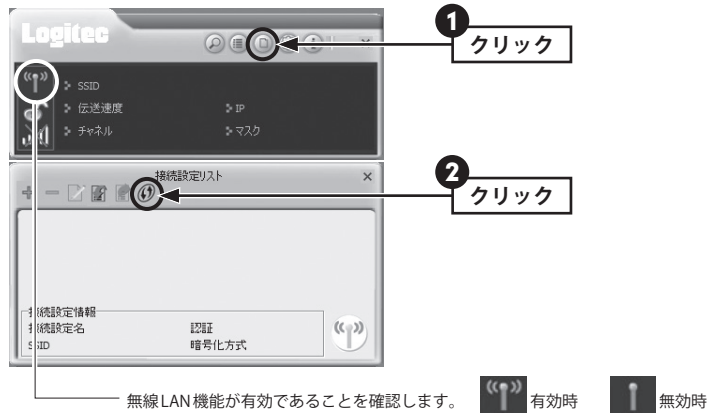
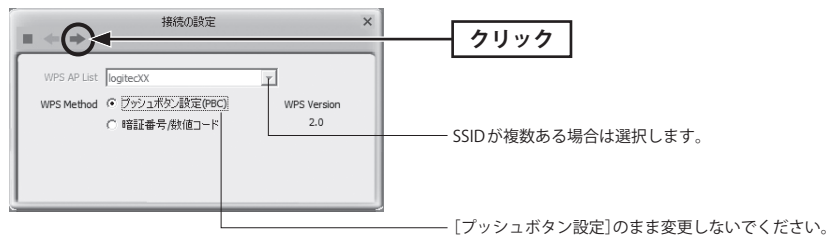
1　設定をはじめる前に、無線親機のWPS用の「設定ボタン」の場所を確認しておきます。

- 無線親機の説明書をお読みください。

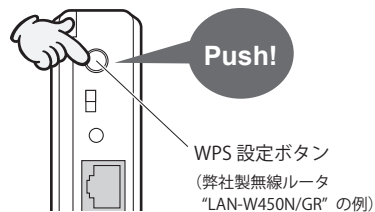
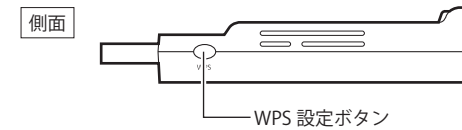
WPS用の「設定ボタン」について

ご使用になる機器によっては、WPSボタンがハードウェアボタンとしては装備されておらず、設定ユーティリティ上のソフトウェアボタンをクリックする製品があります。無線親機の説明書でご確認ください。

2　本製品を接続したパソコンを、インターネットに接続可能な状態である無線親機の近くに置きます。

3　デスクトップ画面の右下の「タスクトレイ」にある「Logitecクライアントユーティリティ」のアイコン（　）を右クリックし、[設定画面を開きます]をクリックします。

4 （接続の設定）→ ［新しいWPS接続の設定］の順にクリックします。

5 をクリックし、次に進みます。

弊社製無線ルータをご使用の場合、"logitecXX（XXは00〜99のランダムの数字）"または"logitec11aXX（11aの場合）"、"logitecuser"のいずれかが表示されます。
表示されるSSIDは、ご使用のモデルによって異なります。

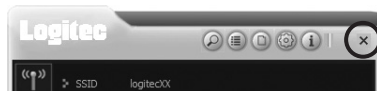
6 無線親機に搭載されたWPS用の「設定ボタン」を押します。

• 指定された時間だけ押します。

7 本製品本体のWPS設定ボタンを押すか、Logitecクライアントユーティリティの［Start PBC］をクリックします。

WPS設定ボタンは小さいので、指先を使ってしっかりと押してください。

8 正しく接続できると「PBC -Get WPS profile successfully.」と表示されます。

9 ［接続設定リスト］が表示され、WPSで接続した無線親機のSSIDが表示されます。

• 自動的に設定内容がプロファイルに登録されます。
• メイン画面に接続ステータスが表示されるようになります。

10 **メイン画面の ✕ をクリックするとクライアントユーティリティが閉じます。**

接続がうまくいかないとき
100%にならない場合は、手順 **6** ～ **9** をくり返してください。
※弊社製無線ルータをご使用の場合、"logitecXX（XXは00～99のランダムの数字）"または"logitecuser"のいずれかが表示されます。表示されるSSIDは、ご使用のモデルによって異なります。

11 **これで無線親機との接続作業は完了です。**

●インターネットに接続できる環境でご使用の場合
インターネットに接続できる環境の場合、Webブラウザからインターネットに接続することで、正しく設定できているかを確認することができます。

●プロファイル機能について
本製品を接続したパソコンで、複数の無線親機に接続する場合は、無線LAN設定をプロファイルに保存することができます。プロファイル機能の詳しい説明は、P48「4.接続設定リスト 画面」をお読みください。

WPSのPINコードを使って接続する

WPS機能のうち、本製品と無線親機に搭載されたWPS用の「PINコード」を使って、無線親機に接続します。
無線親機側に設定されたPINコードを無線アダプタに入力する方法と、無線アダプタ側に設定されたPINコードを無線親機に入力する方法があります。ここでは無線親機側に設定されたPINコードを本製品に入力する場合の操作の流れを説明します。

本製品のPINコードを無線親機に入力する場合
本製品の[接続設定モード]を「登録」に設定したうえで、生成された本製品側のPINコードを無線親機側に入力してください。
このとき無線親機側は、相手からのPINコードでWPS機能を実行するように設定しておいてください。

1 **設定をはじめる前に、無線親機側の設定ユーティリティを表示するなどして、無線親機側のPINコードをメモします。**

●無線親機側のPINコードをメモしてください。

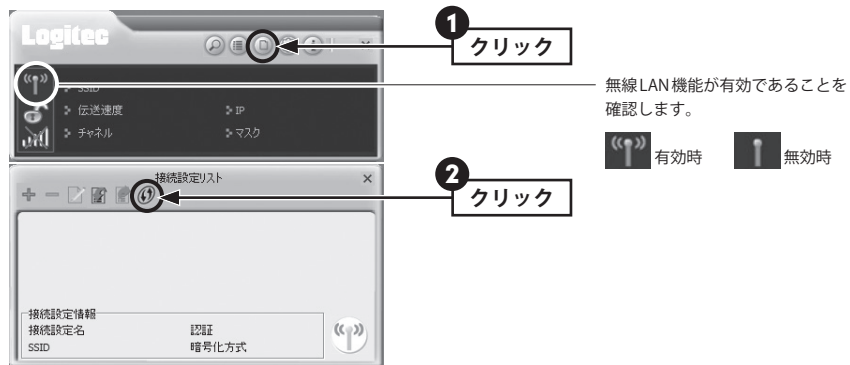
無線親機のPINコード

※ここにメモ書きした場合は、この説明書を他人に見られないように保管してください。

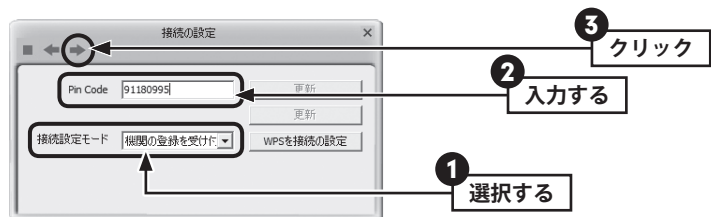
- 無線親機側のPINコードで無線子機の設定するように準備します。
- 無線親機側のPINコードの確認方法は、それぞれの説明書をお読みください。

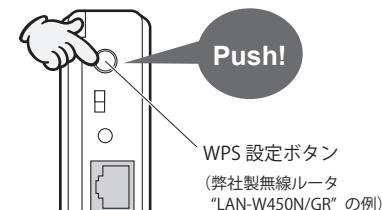
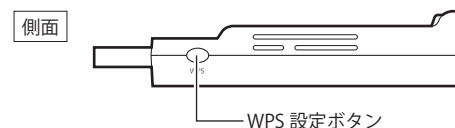
2 **本製品を接続したパソコンを、インターネットに接続可能な状態である無線親機の近くに置きます。**

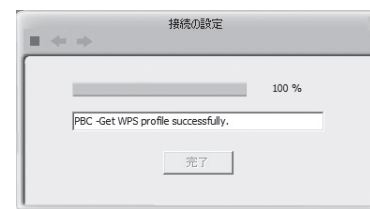
3 **デスクトップ画面の右下の「タスクトレイ」にある「Logitecクライアントユーティリティ」のアイコン（ ）を右クリックし、［設定画面を開きます］をクリックします。**

4 （接続の設定）→ ［新しいWPS接続の設定］の順にクリックします。

5 ［暗証番号/数値コード］を選択し、 をクリックします。

弊社製無線ルータをご使用の場合、"logitecXX（XXは00～99のランダムの数字）"または"logitec11aXX（11aの場合）"、"logitecuser"のいずれかが表示されます。
表示されるSSIDは、ご使用のモデルによって異なります。

6 ［機関の登録を受け付ける］を選択します。［Pin Code］に、メモした無線親機側のPINコードを入力し、 をクリックします。

7 無線親機に搭載されたWPS用の「設定ボタン」を押します。

- 指定された時間だけ押します。

8 本製品本体のWPS設定ボタンを押します。

WPS設定ボタンは小さいので、指先を使ってしっかりと押してください。

9 正しく接続できると「PBC -Get WPS profile successfully.」と表示されます。

10 ［接続設定リスト］が表示され、WPSで接続した無線親機のSSIDが表示されます。

- 自動的に設定内容がプロファイルに登録されます。
- メイン画面に接続ステータスが表示されるようになります。

11 **メイン画面の ✕ をクリックするとクライアントユーティリティが閉じます。**

接続がうまくいかないとき

100%にならない場合は、手順 6 ～ 10 をくり返してください。

※弊社製無線ルータをご使用の場合、"logitecXX（XXは00～99のランダムの数字）"または"logitecuser"のいずれかが表示されます。表示されるSSIDは、ご使用のモデルによって異なります。

12 **これで無線親機との接続作業は完了です。**

●インターネットに接続できる環境でご使用の場合

インターネットに接続できる環境の場合、Webブラウザからインターネットに接続することで、正しく設定できているかを確認することができます。

●プロファイル機能について

本製品を接続したパソコンで、複数の無線親機に接続する場合は、無線LAN設定をプロファイルに保存することができます。プロファイル機能の詳しい説明は、P48「4.接続設定リスト 画面」をお読みください。

手動設定で接続する（WEP/WPA-PSK/WPA2-PSKを使う）

WPS機能がない無線LAN環境では、無線親機に設定された無線LANの設定内容を本製品に設定します。ここでは、セキュリティ機能として、WEP、WPA-PSK、WPA2-PSKのいずれかを設定する手順も含めて説明しています。

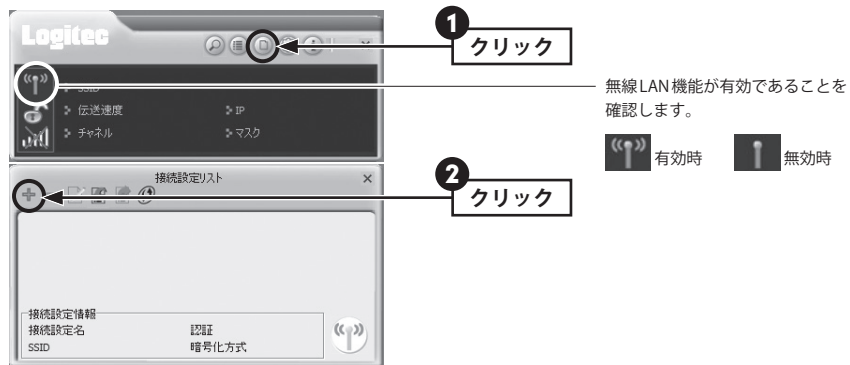
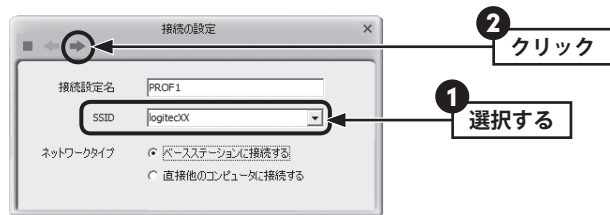
1 **接続作業をはじめる前に、無線親機に設定されている無線LAN設定の項目を確認してメモします。**

※ここにメモ書きした場合は、この説明書を他人に見られないように保管してください。

設定名	項目名	無線親機の設定値
設定値A	SSID	
設定値B	認証方式	□オープンシステム　□シェアード □WPA　□WPA-PSK □WPA2　□WPA2-PSK □802.1X
設定値C	暗号化方式	□未使用（データを暗号化しない） □WEP　□TKIP　□AES
設定値D	WPA-PSKキー、WEPの設定各種、WPAほか	**WPA2-PSKの場合：** WPA-PSKキー（パスフレーズ）＝ **WEPの場合：** 送信するキー（キー番号）＝キー1　キー2　キー3　キー4 キーの形式＝ASCII　16進数 WEPキー＝ **WPA・WPA2・802.1Xの場合：** ネットワーク管理者に情報をご確認ください。

2 **本製品を接続したパソコンを、インターネットに接続可能な状態である無線親機の近くに置きます。**

3 **デスクトップ画面の右下の「タスクトレイ」にある「Logitecクライアントユーティリティ」のアイコン（　）を右クリックし、［設定画面を開きます］をクリックします。**

4 （接続の設定）→ （追加）の順にクリックします。

5 ［SSID］で接続したい無線親機のSSID（設定値A）を選択し、 をクリックします。

※画面のSSIDは例です。実際にご使用の環境で表示される内容とは異なります。

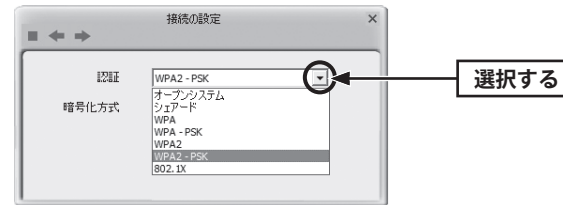
• 複数のSSIDがある場合、「SSID」の をクリックすると、リストが表示されます。

SSIDが見つからない場合

「ブロードキャストSSID」「ステルスSSID」など、SSID名を設定ツールのリストに表示させない機能を使用している場合は、リストにSSID名が表示されません。この場合は［SSID］に、手順でメモしたSSIDを手動で入力します。

※ SSIDは大文字と小文字が区別されます。

6 無線親機の設定に応じて暗号化設定をします。セキュリティ機能を設定していない場合は、手順 **11** へ進みます。

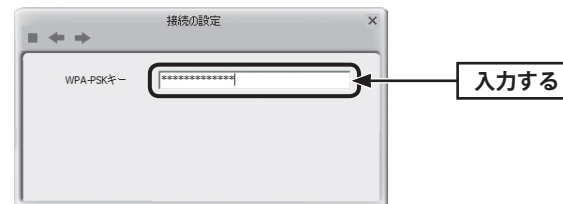
7 「認証」の をクリックして、認証方式を選択します。

• あらかじめメモした「設定値B」を参考にして選択します。

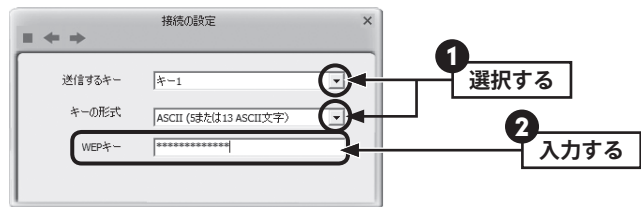
8 「暗号化方式」の をクリックして、方式を選択します。
選択したら、 をクリックします。

• あらかじめメモした「設定値C」を参考にして選択します。

9 選択した認証・暗号化方式に応じて設定し、 をクリックします。

●WPA-PSK、WPA2-PSKの場合

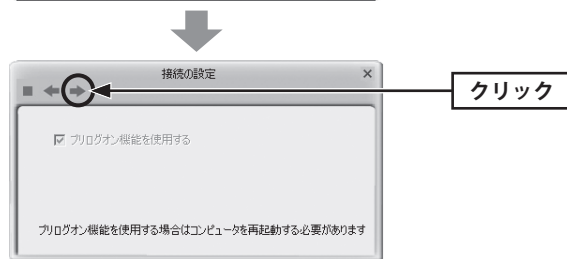
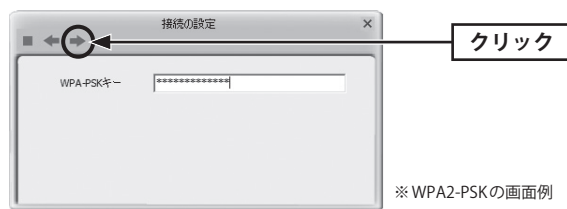
「WPA-PSKキー」に、あらかじめメモした「設定値D」のパスフレーズを入力します。

●WEPを選択した場合

あらかじめメモした「設定値D」の内容を設定します。

- 「送信するキー」で、使用する暗号キー番号（キー1〜キー4）を選択します。
- 「キーの形式」」で、WEPキーに使用する暗号キーの形式を選択します。
- 「WEPキー」で、暗号キーを入力します。

802.1X認証をご使用の場合

本製品は、高度な認証システムである802.1X認証を使用することができます。802.1X認証を使用する場合は、ネットワーク管理者に設定を依頼するか、ネットワーク管理者の指示に従って、表示される項目を設定してください。設定が終われば、手順 **10** へ進みます。

10 **セキュリティ設定が終われば、 をクリックします。「プリログオン機能」の設定画面が表示されますが、そのまま をクリックします。**

※WPA2-PSKの画面例

11 **登録したプロファイルを選択し、 をクリックします。**

12 **無線親機と接続し、メイン画面にステータスが表示されます。**

- 接続設定リストとメイン画面の をクリックして画面を閉じます。

13 **これで無線親機との接続作業は完了です。P41「3.インターネットに接続する」へ進みます。**

アドホック・モードで接続する

無線親機を使わずに、無線子機同士で直接通信するアドホック（Ad hoc）モードでの接続方法について説明します。アドホック・モードの設定を始める前に、本製品のドライバおよびクライアントユーティリティのインストールを完了しておいてください。なお、アドホック・モードでは、同時に使用できる無線子機は2台です。また、WPS機能は利用できません。

●アドホック・モードを設定するには

アドホック・モードで使用する場合は、必ずいずれかの無線子機について手動でSSIDやセキュリティ設定をおこなってください。

設定した1台の無線子機を起動し、他の無線子機は、Logitecクライアントユーティリティの〈ワイヤレスネットワーク〉画面からSSIDを選択することで、WPS-PSKキーやWEPキーの設定を手動で入力するだけで済ませることができます。

●接続作業をはじめる前に、アドホック・モードで使用する無線LAN設定の項目を決めます。

※ここにメモ書きした場合は、この説明書を他人に見られないように保管してください。

設定名	項目	無線親機の設定値
設定値A	SSID	
設定値B	チャンネル	Ch ※アドホック・モードでは、自動選択できません。
設定値C	認証方式	□オープンシステム　□シェアード □WPA2-PSK
設定値D	暗号化方式	□未使用（データを暗号化しない） □WEP　□AES
設定値E	WPA-PSKキー または WEPの設定各種	**WPA2-PSKの場合：** WPA-PSKキー（パスフレーズ）＝ **WEPの場合：** 送信するキー（キー番号）＝キー1　キー2　キー3　キー4 キーの形式＝ASCII　16進数 WEPキー＝

1台目のパソコンの設定方法

1 **アドホック・モードで接続する本製品を接続したパソコンのうち1台を用意し、パソコンを起動します。**

2 **デスクトップ画面右下の「タスクトレイ」にある「Logitecクライアントユーティリティ」のアイコン（ ）を右クリックし、［設定画面を開きます］をクリックします。**

3 **（接続の設定）をクリックします。**

4 **をクリックします。**

5 **基本的な項目を設定します。**

❶ 接続設定名を任意で付けることができます。初期値は「PROF」＋「数字」です。
❷ SSID（設定値A）を手動で入力します。
❸ ［ネットワークタイプ］として、［直接他のコンピュータに接続する］を選択します。
❹ 使用するチャンネル（設定値B）を選択します。
❺ 設定が終われば、 をクリックします。

6 **認証方式と暗号化方式（設定値C・D）を選択し、➡をクリックします。**

7 **暗号化機能を設定し、➡をクリックします。画面は選択した認証・暗号化方式により異なります。**

◆WPA2-PSKの例

◆WEPの例

• それぞれの認証・暗号化方式（設定値E）にあわせて設定します。

8 **リストに新しいプロファイルが登録されます。**

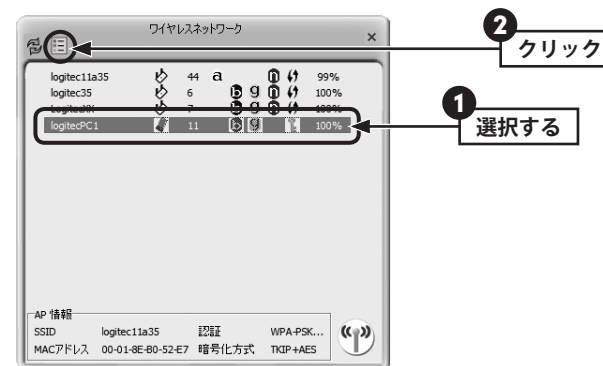
9 **2台目のパソコンの無線LAN設定をします。次ページ「2台目のパソコンの設定方法」へ進みます。**

2台目のパソコンの設定方法

1台目を設定したのち、2台目のアドホック・モードのパソコンを設定する方法を説明します。

1 **設定済みのパソコンを近くに置いて、未設定のパソコンを起動します。**

2 **Logitecクライアントユーティリティを起動し、🔍をクリックします。**

3 **リストから1台目のパソコンで設定したSSIDを選択し、☰をクリックします。**

4 **〈接続の設定〉画面が表示されます。**

• SSIDなどのP36の表の設定値A〜Dまでは自動的に設定されます。
• ➡をクリックして、手順 **5** へ進みます。

5 ➡ **をクリックします。**

6 **暗号化機能を設定し、** ➡ **をクリックします。画面は選択した認証・暗号化方式により異なります。**

◆WPA2-PSKの例

◆WEPの例

• それぞれの認証・暗号化方式（設定値E）にあわせて設定します。

7 **リストに新しいプロファイルが登録されます。**

• をクリックすると相手のパソコンの無線子機に接続します。

3 インターネットに接続する

無線LANがつながれば、無線LANを経由してインターネットに接続できるかテストします。

1 **Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。**

2 **Webブラウザからお好みのホームページに接続し、正常に表示されることを確認します。**

ロジテック Web サイト　http://www.logitec.co.jp/

Chapter 3

詳細設定 編

1 ユーティリティの画面構成

本製品のユーティリティ「Logitec クライアントユーティリティ」の画面構成を説明します。基本となるメイン画面のほか、設定や確認のための複数の画面が用意されており、必要なときに表示することができます。

Logitec クライアントユーティリティを表示する

1 **デスクトップ画面の右下の「タスクトレイ」にある「Logitec クライアントユーティリティ」のアイコン（ ）を右クリックし、［設定画面を開きます］をクリックします。**

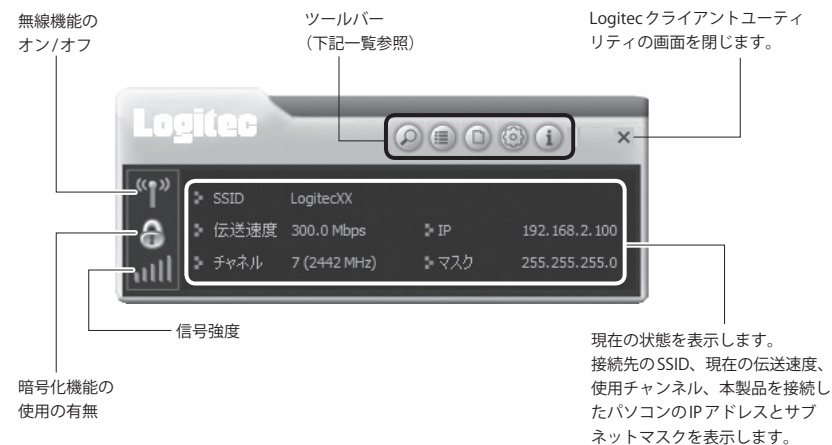
本製品がパソコンに接続されていない状態では、Logitec クライアントユーティリティを表示することはできません。

2 **メイン画面が表示されます。**

画面の構成

おもな画面の構成と概要を説明します。

メイン画面

Logitec クライアントユーティリティを起動すると常に表示される画面です。接続状況など基本的なステータスを表示します。また、ツールバーのボタンをクリックすることで、各種画面を表示することができます。

	ワイヤレスネットワーク（→P46）	本製品が電波の届く範囲にある無線親機のSSIDをはじめとするステータスをリストで表示します。 リストの無線親機を選択することで、その親機との接続設定が可能です。
	接続情報（→P47）	接続中の無線親機との詳しい接続情報を表示します。 基本情報、信号強度の詳細、パケット情報などです。
	接続設定リスト（→P48）	保存されているプロファイルを一覧で表示します。 この画面を使って、プロファイルの追加/削除/編集/保存/読み込みが可能なほか、WPS機能を使った設定が可能です。
	詳細（→P57）	使用する無線周波数帯を選択することができます。
	情報（→P58）	本ソフトウェアのバージョン情報などを表示します。ソフトウェアのアップデートやサポートへのお問い合わせなどで必要になることがあります。

2 ワイヤレスネットワーク 画面

本製品が電波の届く範囲にある無線親機のSSIDをはじめとするステータスをリストで表示します。リストの無線親機を選択することで、その親機との接続設定が可能です。

◆ワイヤレスネットワーク 画面

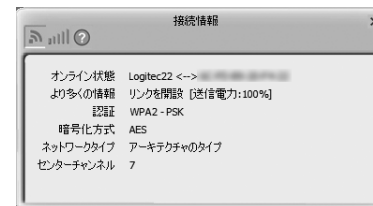
リストで選択中の無線親機の情報を表示します。SSID、MACアドレス、認証方式、暗号化方式の4つです。

	再スキャン	リストの内容を最新の情報に更新します。
	接続設定を追加	リストで選択した無線親機との接続設定をプロファイルに追加します。〈接続の設定〉画面が表示されますので、新しいプロファイルを作成します。手順については、P49「新しくプロファイルを追加する」をお読みください。
	接続	リストで選択した無線親機に接続します。無線親機にセキュリティ設定がされている場合、〈接続の設定〉画面のセキュリティ設定の項目が表示されますので、無線親機に設定されたセキュリティ設定を反映し、ウィザードを進めてください。〈接続の設定〉画面については、P49「新しくプロファイルを追加する」をお読みください。

〈接続の設定〉画面が表示されている状態では、リストの無線親機を選択したり、〈ワイヤレスネットワーク〉画面を閉じたりすることはできません。これらの操作をする場合は、〈接続の設定〉画面を閉じてください。

3 接続情報 画面

接続中の無線親機との詳しい接続情報を表示します。基本情報、信号強度の詳細、パケット情報などです。

◆オンライン状態

◆転送効率

◆統計（送信したパケット）

◆統計（受信したパケット）

	オンライン状態	現在の接続状況を表示します。 接続中のSSID、無線親機のMACアドレス、送信の電力状況、認証方式、暗号化方式などが表示されます。
	転送効率	信号強度や速度などに関する状況を表示します。 接続中の電波の品質、アンテナごと（3本）の信号強度、送受信の速度および転送効率が表示されます。
	統計	送信または受信したパケット数を表示します。「送信したパケット」「受信したパケット」選択したほうのパケット情報が表示されます。 をクリックすると情報がリセットされます。

4 接続設定リスト 画面

保存されているプロファイルを一覧で表示します。本製品は、プロファイル名を付けることで、複数の無線LAN環境（SSIDやセキュリティ設定など）を保存することができます。この画面を使うことで、プロファイルの追加/削除/編集/保存/読み込みが可能なほか、ボタンひとつで無線LAN接続を可能にする「WPS機能」を使った設定もできます。

◆〈接続設定リスト〉画面

	プロファイルの追加 （→P49）	新しいプロファイルを手動で作成します。
	プロファイルの削除 （→P52）	登録済みのプロファイルを削除します。
	プロファイルの編集 （→P53）	登録済みのプロファイルを修正したり編集することができます。
	プロファイルの読込 （→P55）	保存したプロファイルのファイル（.prof）を、Logitecクライアントユーティリティのプロファイルとして読み込みます。
	プロファイルの保存 （→P54）	登録済みのプロファイルをファイルとして保存することができます。
	WPS接続の設定 （→P56）	WPS機能を持った無線親機と本製品をボタンを押すだけで簡単に設定します。

新しくプロファイルを追加する

●電波の届く範囲にある無線親機のプロファイルを作成する場合
〈ワイヤレスネットワーク〉画面（→P46）に表示されている無線親機に接続するためのプロファイルを作成する場合は、〈ワイヤレスネットワーク〉画面のリストから接続設定を追加したほうが、SSID、認証方式、暗号化方式などが自動的に入力されて便利です。

●アドホック・モードを使用する場合
P36「アドホック・モードで接続する」をお読みください。

1 〈接続設定リスト〉画面で をクリックします。

2 基本的な項目を設定します。

❶ 接続設定名を任意で付けることができます。初期値は「PROF」＋「数字」です。
❷ SSIDを入力します。電波の届く範囲に無線親機がある場合は、 をクリックしてリストから選択することもできます。
❸ ［ネットワークタイプ］を選択します。
❹ 設定が終われば、 をクリックします。

ベースステーションに接続する	インフラストラクチャ・モードです。無線親機と接続します。
直接他のコンピュータに接続する	アドホック・モードです。こちらを選択した場合、このあとの手順は、P36「アドホック・モードで接続する」の手順 6 以降をお読みください。

3 **認証方式と暗号化方式を選択し、 をクリックします。**

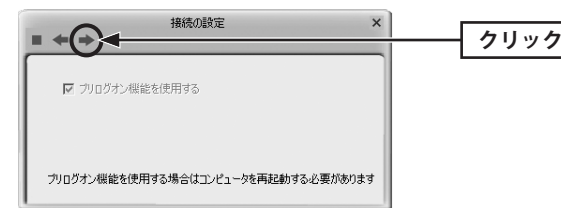
4 **暗号化機能を設定し、 をクリックします。画面は選択した認証・暗号化方式により異なります。**

◆WPA2-PSKの例

◆WEPの例

• それぞれの認証・暗号化方式にあわせて設定します。

WPA2-PSK WPA-PSK	パスフレーズを入力します。
WEP	いずれの項目も無線親機と同じ設定にします。 **送信するキー**：キー1〜キー4 **キーの形式**：16進数またはASCII **WEPキー**：キーの形式にあわせた内容を入力
WPA2、WPA、802.1X	ネットワーク管理者が設定するか、ネットワーク管理者からの指示内容を設定します。

5 **をクリックします。**

6 **リストに新しいプロファイルが登録されます。**

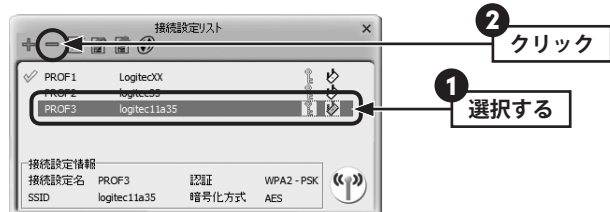
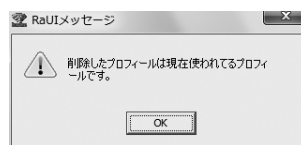
登録したプロファイルに接続するには

使用したいプロファイルをリストから選択し、 をクリックします。
正常に接続できるとプロファイル名の前に マークが表示されます。
 の場合は、正常に接続できていません。

プロファイルの削除と編集

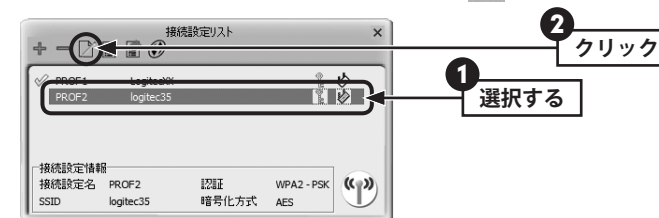
プロファイルの削除

登録したプロファイルを削除します。

❶ リストから削除したいプロファイルを選択し、 をクリックします。

無線親機と接続中のプロファイルを削除しようとした場合は、現在使われているプロファイルを削除してよいか確認の画面が表示されますので、 OK をクリックします。

❷ リストからプロファイルが削除されます。

プロファイルの編集

登録したプロファイルの内容を修正します。

❶ リストから編集したいプロファイルを選択し、 をクリックします。

❷ プロファイル作成時と同じ画面が表示されます。

❸ をクリックすると、［接続設定名/SSIDの設定］→［認証/暗号化方式の設定］→［暗号設定］の順に画面が切り替わります。設定内容を修正します。

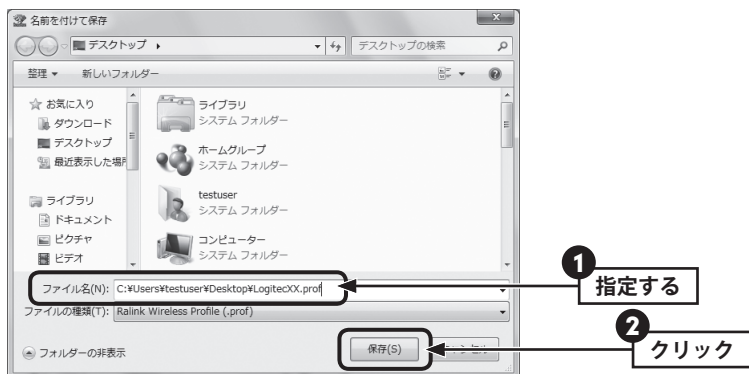
❹［暗号設定］が終わると、リスト画面に戻ります。

プロファイルの保存と読み込み

設定したプロファイルをバックアップファイルとして保存できます。バックアップしたプロファイルの設定を読み込むこともできます。
複数の本製品が同じ無線親機に接続する場合、1台目に作成したプロファイルをファイルとして保存することで、2台目以降はプロファイルの読み込みだけで設定を完了できます。また、万一のときのための設定のバックアップとしても利用できます。

プロファイルの保存

❶ 保存したいプロファイルを選択し、［アイコン］をクリックします。

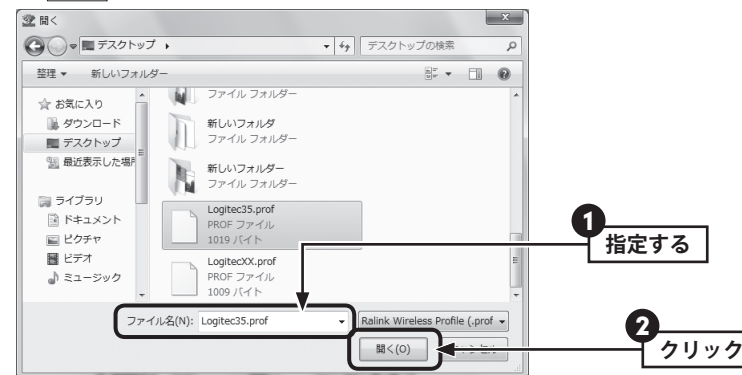
❷ 名前を付けて保存画面が表示されますので、ファイル名と保存先を指定し、保存 をクリックします。

・ファイル名は自動的に「プロファイル名＋prof」が初期値として表示されています。

❸ 保存先に「(ファイル名).prof」のファイルが保存されます。

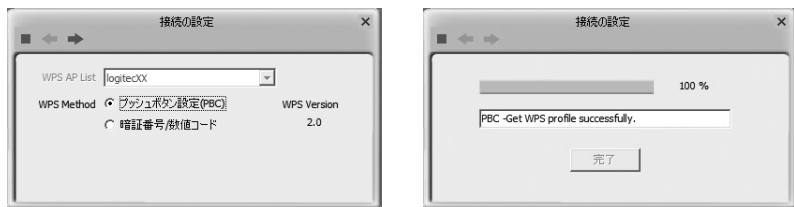
プロファイルの読み込み

保存したプロファイルをLogitecクライアントユーティリティのプロファイルとして読み込ませます。

❶ ［アイコン］をクリックします。

❷〈開く〉画面で、読み込みたいプロファイルのファイル「(ファイル名).prof」を選択し、開く をクリックします。

❸ リストに読み込んだプロファイルが表示されます。

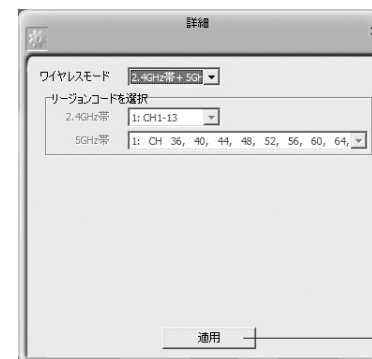
WPS接続

「WPS」は、WPS機能を搭載する無線LAN製品同士を接続する場合に、WPS機能を使ってセキュリティを含む無線LAN設定を自動的におこなって、すぐに使えるようにする機能です。WPS機能には、無線親機と無線子機のそれぞれに装備されたWPS用の「設定ボタン」を押すタイプと、「PINコード」と呼ばれる8桁の数字を入力するタイプの2種類があります。面倒なセキュリティ機能も含めて自動的に設定できます。

WPSの設定方法について

P22「2.無線LANで接続する」の「WPSの設定ボタンを使って接続する」および「WPSのPINコードを使って接続する」を参考に設定してください。

5 詳細 画面

使用する無線周波数帯を選択することができます。

◆〈詳細〉画面

［ワイヤレスモード］を変更した場合は、必ず［適用］ボタンをクリックして、設定を更新してください。

ワイヤレスモード	使用する周波数帯を選択します。設定を変更した場合は、適用 をクリックします。 **2.4GHz帯+5GHz帯**：2.4GHz帯と5GHz帯、両方の帯域を使用します。 **2.4GHz帯**：2.4GHz帯だけを使用します。 **5GHz帯**：5GHz帯だけを使用します。
リージョンコードを選択	いずれの帯域も、初期値から変更できません。

情報 画面

本ソフトウェアのバージョン情報などを表示します。ソフトウェアのアップデートやサポートへのお問い合わせなどで必要になることがあります。

◆〈情報〉画面

バージョン	Logitecクライアントユーティリティのバージョン、本製品のドライバソフトのバージョンなどを表示します。
MACアドレス	本製品のMACアドレスを表示します。
Logitecロゴ	インターネットに接続できる環境でロゴをクリックすると、ロジテック・ホームページを表示します。

Appendix

付録編

1 こんなときは

無線LAN関係のトラブル

添付CD-ROMのセットアップメニューから閲覧できる「FAQ」もご参照ください。

●無線LANがつながらない。

①通信モードを正しく設定していますか？　アドホック・モードの場合は、接続の設定で、アドホック・モードを使用するように設定する必要があります。P36「アドホック・モードで接続する」を参照してください。

②ネットワーク設定で実際のネットワーク環境に応じたプロトコル、サービスなどの設定をしていますか？　プロトコル（TCP/IPなど）、クライアント（Microsoft Networkクライアントなど）、サービス（Microsoft Network共有サービスなど）を環境に応じて設定する必要があります。

③ルータなどのDHCPサーバ機能を使用せずにインターネットプロトコル「TCP/IP」を利用する場合は、各パソコンに手動でIPアドレスを割り当てる必要があります。

◆CATVインターネットなどでは、回線事業者からIPアドレスを指定される場合があります。その場合は指示に従ってください。

④本製品のセキュリティ設定やアクセスポイントのMACアドレスフィルタリング設定は正しいですか？　セキュリティ設定は、無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定にする必要があります。また、MACアドレスフィルタリングを設定していると、設定条件によっては無線LANに接続できない場合があります。

●アドホック・モードでつながらない。

無線子機のうち1台は、必ずSSIDを設定してください。

●セキュリティ機能を設定後に無線LANがつながらない。

①セキュリティ設定は、同じ無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定になっている必要があります。設定が少しでも異なる機器はネットワークに接続することができません。

②各セキュリティ機能で使用するパスワードや暗号などの文字列は大文字と小文字が区別されたりします。また、意味のない文字列は入力ミスが発生しやすいので特に注意して確認してください。

◆セキュリティ設定でのトラブルのほとんどがスペルミスや設定ミスですのでよく確認してください。

③設定を変更した直後や設定が正しい場合は、アクセスポイントを含め、すべての機器の電源を入れ直してから接続してみてください。

●WPSがつながらない。

①もう一度初めからやりなおしてください。

②PINコードによる設定の場合、PINコードの設定モードや、入力したPINコードが誤っていることがあります。もう一度初めからやりなおしてください。

WPS機能を利用した接続に失敗する場合
WPS機能を利用した接続に繰り返し失敗する場合は、手動で接続してください。手動での接続方法については、P31「手動設定で接続する（WEP/WPA-PSK/WPA2-PSKを使う）」をお読みください。

共通のトラブル

●インターネットに接続できない。

①TCP/IP プロトコルが正しく設定されているかを確認してください。OSの［ネットワーク］画面でTCP/IP プロトコルが設定されているかを調べてください。見あたらない場合は、TCP/IP プロトコルを追加してください。

②DHCPサーバ機能を使用していない場合は、IPアドレスを手動で割り付けてください。OSのTCP/IP のプロパティにある［IPアドレス］タブで設定します。

③TCP/IP プロトコルの設定が正しいかを確認してください。プロバイダによって、IPアドレスを自動取得する場合と固定IPアドレスを指定する場合があります。プロバイダから提供されるマニュアルで確認のうえ、正しい設定をおこなってください。

④プロバイダから提供された情報をすべて設定したかを確認してください。IPアドレス以外にも、識別情報の指定などが必要なことがあります。プロバイダから提供されるマニュアルで確認のうえ、正しい設定をおこなってください。

●本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークパソコンを開くと「ネットワークを参照できません。」のエラーが表示される。

①正常にネットワークの設定ができていない可能性があります。もう一度、デバイスマネージャなどで本製品の設定を確認し、OS側が本製品を正常に認識しているか調べてください。

●他のパソコンのファイルやプリンタの共有ができない。

①ネットワーク設定をしましたか？
無線LANが正常に動作していてもネットワーク設定ができていないとファイルの共有やプリンタの共有はできません。

②ネットワークには接続できて相手側へ入れるようになったが、相手側のドライブやプリンタの使用ができないときは次の点を確認してください。
・利用者がアクセスを許可するユーザーとして登録されていますか。ユーザーが登録されているか確認してください。
・利用者が共有フォルダにアクセスできるように設定していますか？　また、アクセス内容を正しく設定していますか。NTFSフォーマットのハードディスクの場合は、さらにセキュリティ設定でも利用者を登録しておく必要があります。

●Windows XPでインストールを実行すると、「Wlanapi.dllが見つかりません」と表示されます。

Windows XPで「セットアップツール」を実行すると、「Wlanapi.dllが見つかりません」と表示されることがあります。この場合、ご使用のWindows XPのエディションがSP2以前の可能性があります。以下の操作でWindows XPのエディションを確認してください。

①Windows XPのデスクトップ画面にある「マイコンピュータ」アイコンを右クリックします。
②リストの「プロパティ」を選択します。〈システムのプロパティ〉画面が表示されます。
③【全般】タブにある「システム」項目に、「Service Pack 3」という表示があるかを確認します。
◆「Service Pack 3」という表示がない場合は、Windows XPを「SP3」にアップデートする必要があります。
［スタート］→［すべてのプログラム］→［Windows Update］などを使って、SP3 にアップデートしてください。

Service Pack 2の画面例

●Windows XP でネットワーク設定ができない。

Administrator 権限でログオンしていますか？　ネットワークの各種設定にはAdministrator権限がないと設定できない項目があります。

●Windows Vista で［ユーザーアカウント制御］ダイアログが表示される。

Windows Vistaでは、パソコンの利用者が意図しない設定変更を防ぐため、重要な設定項目を変更するときに［ユーザーアカウント制御］ダイアログを表示して確認を促すようになっています。意図した操作であれば［許可］をクリックしてそのまま操作を続けて問題ありません。

2 ユーティリティとドライバの削除方法

1 **［スタート］→［（すべての）プログラム］→［Logitec］→［クライアントユーティリティの削除］を選択します。**

Windows Vista の場合
［クライアントユーティリティの削除］を実行すると、〈ユーザーアカウント制御〉画面が表示されますので、 はい をクリックします。

2 **はい をクリックします。**

3 **アンインストール完了のメッセージが表示されます。 完了 をクリックして、パソコンを再起動します。**

3 補足事項

補足1：Windowsのユーザー権限の確認方法

Windowsにログオン中の現在のユーザー権限は、以下の方法で確認することができます。ログオン中のユーザーに管理者権限がない場合は、管理者権限のあるユーザーでログオンするか、現在のユーザーの権限を変更してください。

●Windows 7/Vista の場合

❶ Windowsのデスクトップ画面左下の［スタート］→［コントロールパネル］をクリックします。
・ リストの右上に現在ログオン中のアカウント名が表示されますのでメモします。
❷ コントロールパネルの「ユーザーアカウントと家族のための安全設定」→［ユーザーアカウント］の順でクリックします。
❸〈ユーザーアカウントの変更〉画面が表示されます。
❹ 画面右に現在のアカウントと権限が表示されます。
❺ 現在、設定されているアカウントが表示されます。ログオンしているアカウントが「Administrator」になっていることを確認します。

●Windows XP の場合

❶ Windowsのデスクトップ画面左下の［スタート］→［コントロールパネル］をクリックします。
・ リストの右上に現在ログオン中のアカウント名が表示されますのでメモします。

（カテゴリ表示の場合）
❷［ユーザーアカウント］をクリックします。
❸「コントロールパネルを選んで実行します」の［ユーザーアカウント］をクリックします。
❹「変更するアカウント」の下に、アカウントが一覧で表示されます。ログオンしているアカウントが「コンピュータの管理者」となっていることを確認します。

（クラシック表示の場合）
❷［ユーザーアカウント］をダブルクリックします。
❸「変更するアカウント」の下に、アカウントが一覧で表示されます。ログオンしているアカウントが「コンピュータの管理者」となっていることを確認します。
❹ アカウントの変更（アカウントを変更する）をクリックします。

補足2：本製品を取り付けたパソコンのIPアドレスを知りたいとき

本製品のLogitec クライアントユーティリティからIP アドレスを知ることができます。

❶ Logitecクライアントユーティリティを起動します。
❷ メイン画面にある「IP」が本製品を取り付けたパソコンのIPアドレスです。

本製品を取り付けたパソコンの
IPアドレスとサブネットマスク

4 基本仕様

インターフェイス	USB2.0/1.1
規格	IEEE802.11n/IEEE802.11a/IEEE802.11g/IEEE802.11b/ ARIB STD-T66（2.4GHz帯） ARIB STD-T71（W52：5.2GHz帯、W53：5.3GHz帯、W56：5.6GHz帯）
周波数帯域	11n/11g/11b：2.412～2.472GHz（2.4GHz帯） 11a：2.412～2.472GHz（2.4GHz帯） 5.150～5.250GHz（W52：5.2GHz帯） 5.250～5.350GHz（W53：5.3GHz帯） 5.470～5.725GHz（W56：5.6GHz帯）
チャンネル	11n/11g/11b：1～13ch（2.4GHz帯） 11a：2.4GHz帯：1～13ch 5.2GHz帯：36、40、44、48ch 5.3GHz帯：52、56、60、64ch 5.6GHz帯：100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch ※J52対応親機とは接続出来ません
伝送方式	11n：MIMO-OFDM方式、11a：OFDM方式、 11g：OFDM方式、11b：DS-SS方式
データ転送速度（理論値）	11n接続時：最大300Mbps（送信3×受信3） 11g：54/48/36/24/18/12/9/6Mbps　11b：11/5.5/2/1Mbps
アクセス方式	インフラストラクチャー/アドホック
送信出力	10mW/MHz以下
セキュリティ	WEP（64/128ビット）、WPA-PSK（TKIP）、WPA2-PSK（AES）
設定方式	WPS（ボタン搭載）※ソフトウェアでも設定可能
環境条件	温度：0～40℃、湿度：20～80%（結露なきこと）
消費電力（定格）	500mA/5V
外形寸法	幅27.2×奥行87.1×高さ17.2mm（突起物含まず）
質量	約25g

●対応機種：以下のOSに対応したWindowsマシン
Windows 7（32/64bit）、Windows Vista SP2～（32bit）、Windows XP SP3～

IEEE802.11n/a・11n/g/b準拠　無線LANアダプタ　　LAN-W450AN/U2
ユーザーズマニュアル

発行 　2011年10月31日　第2版